

総合特別区域の進捗に係る評価  
〔農林水産業分野〕

令和2年度

競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区

〔指定：平成24年7月、認定：平成30年3月〕

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 (3.5+3.3)/2=3.4

3.4

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	耕作放棄地面積	85%	4
2	農業従事者	97%	4
4	農業所得	87%	4
5	市人口社会増減数	370%	5
6	観光入込客数	57%	2
7	地域資源を活用する民間企業の参入数	33% (※)	2 (※)

評価指標毎の進捗の評価の平均値 (5×1+4×3+3×0+2×2+1×0) / 6 = 3.5

3.5

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.3

(※) 上記7番目の評価指標の進捗度及び評点については、当該指標が定める複数の数値目標の進捗度及び評点をそれぞれ寄与度を踏まえ平均した値を記載しているため、進捗度40%以上60%未満を2とする評点の取扱いと一致しない記載となっている。

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 (2.3+3+3.8)/3=3

3.0

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

2.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.8

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.0

- ・規制の特例措置等を活用した事業や、国の支援措置に係る財政・税制・金融支援は活用実績がないが、地域独自の取組は相当程度、活発であると評価できる。
- ・数値目標(1)「耕作放棄地面積」は増加傾向にあり、耕作放棄抑止の対策が必要である。ただし、総量が多いので、耕作放棄地をカテゴライズし、復旧の必要性の有無や緊急性などを峻別した上で対策をとる必要がある。
- ・農業所得の変動について要因を分析し、それに基づいて既存農家の経営支援方を考えることが重要である。参入企業による新産業創出よりも、その方が着実な発展となると見込まれる。
- ・滞在型クラインガルテンを手掛かりとして関係人口の増加を図り、定住人口の獲得に繋げていくことができればと思う。そのためには南アルプス市らしいライフスタイルを積極的に構築・提案していく必要がある。
- ・人口増加が着実なので、南アルプス市自体に大きな魅力を感じている人々が増えているということも評価できる。
- ・新型コロナによる経済の縮小は外生的なショックであり、またどの程度の期間継続するかわからないものの、農や食は、その中でも必ず人々が行うものであり、地域資源をうまく利用することを考えて、南アルプス市らしい6次化モデルの構築に取り組んでもらいたい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.0

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(3.4+3+3 \times 2) \div 4=3.1$

3.1

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。